

## 防災避難訓練

## もしもの時を想定し、日頃から準備を

11月9日（水）、「第2回防災避難訓練」が実施されました。この訓練は、避難訓練や避難方法を確認するとともに、災害時の対応力を養うことを目的として実施されました。今回も、常陸大宮市消防本部西消防署より、4名の消防署員をお招きしました。

今回は、化学室で火災が発生したという想定でした。生徒は指示に従い、非常階段から落ち着いて避難をしました。また、火災場所では、教員による初期消火訓練も行われました。

避難後は、水消火器を用いた消火器訓練を実施しました。体験した生徒や教員は、「火事だ!」と大きな声で伝えながら、炎のイラストに向かって水をかけ、消火器の正しい使い方を確かめていました。

救助袋体験では、業者の方々から救助袋に関する説明をしていただき、正しい使い方を学びました。その後、各学年の代表生徒が実際に救助袋から避難を行いました。

避難訓練を終え、生徒からは、「本当に災害が発生したら、落ち着いて行動することは難しいと思うので、日頃からの備えが大切だと思った」「消火器の使い方を教えていただき、普段から覚えておかないと、いざというときに使いこなすのは難しいと感じた」などの感想が寄せられました。



## ＜租税教室（3 学年）＞

11月16日（水）、3学年を対象に「租税教室」が実施されました。この講座は、税のしくみや税の役割について興味・関心を高め、社会における税の重要性について理解するとともに、卒業後に主体的に社会に参画できる資質を養うことを目的としています。今回は、関東信越税理士会の太田支部で副支部長をされている今井 正和 氏を講師としてお招きしました。

生徒からは、「老後のためだけではなく、病気や怪我、失業をしてしまったときにもお金が出してもらえることを知り、社会保険の仕組みは大切なんだと実感した」「源泉徴収票の見方を教えていただき、バイト先からいただいている源泉徴収票をしっかりと見てみようと思った」「見たことのない量の札束を見て、お札も大量に集まればこんなに重いんだと実感した」などの感想が寄せられました。

